

同じ予算の三択・・・5年間の総額で比べる

同じ金額を出したとき、選択肢は3つあります。書き込んで計算すると、思っていた順位と逆になることが実際にあります。

乗る年数は5年で例示しています。ご自身の想定年数に置き換えて計算してください。

今回の予算

万円（車両価格）

乗るつもりの年数

年

年間走行距離

km（図解⑭から）

比べる項目	A 国産の新車	B 数年落ちの輸入車	C 中古の国産上級車
下から順に埋める	その予算で買える、いちばん新しい国産車	値下がりを経て、その予算帯に降りてきた1台	ひとクラス上の国産車の中古
候補の車 車種・年式			
車両価格 支払総額で	円	円	円
保証 期間・内容	メーカー保証が付く	残りを確認。延長できるかも聞く	販売店の保証。内容を書面で
直せる場所 自宅からの距離	どこにでもある	正規店か専門店。距離を書く	どこにでもある
年間の維持費 図解⑯の9項目の合計	円／年	円／年	円／年
5年ぶんの維持費 上の数字 ×5	円	円	円
5年後の見込み価格 手放したときに戻る額	-円	-円	-円
5年間の実質負担 車両価格 + 維持費 - 戻る額	円	円	円
1年あたり 実質負担 ÷ 5	円／年	円／年	円／年
数字にならない差 正直に書く	安心。故障で困らない	走りと質感。所有する満足	クラスが上がる余裕

🏆 順位が逆転することがある

車両価格だけで見るとBが高く見えても、5年間の実質負担ではAと変わらない、ということが起きます。逆に、維持費と値下がりを入れるとBが大きく不利になることもあります。計算しないと分かりません。

💡 数字にならない差も書く

いちばん下の行は空欄にせず、正直に書いてください。好きな車に乗る満足は、家計簿には載りませんが確かに価値です。数えたうえで、それでも欲しいなら正しい買い物です。

⚠️ 迷っているうちは選ばない

車は逃げません。今回は国産にして、次の1台で挑戦するという順番もあります。1台目で車の見方を覚えてから・・・これは決して遠回りではありません。